



「人に優しい医療」への貢献



ディービエックス株式会社
株主通信

2020年3月期第2四半期報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

証券コード3079



Dvix ディービエックス株式会社

代表取締役社長

柴崎 浩

▶ 株主の皆様へ

To Our Shareholders

売上は前年同期比増収となりましたが、移管業務委託収入の減少、販管費の増加などにより減益となりました。

Q 当第2四半期累計期間の業績について総括をお願いします。

A 主力商品の数量が増加し、売上高は順調に拡大しました。一方で医療機関からの値下げ要請と同業間の価

格競争から、利益率は低下しています。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は221億2千1百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は4億4千6百万円(同7.1%減)、経常利益は4億5千3百万円(同8.1%減)、四半期純利益は3億1千4百万円(同19.2%減)となりました。

Q 不整脈事業および虚血事業の市場見通しと事業戦略についてお話しください。

A 高齢化の進展に伴う患者数の増加により市場規模は堅調に拡大するものと見ています。ただし、国家財政としての医療費抑制および健全な医療機関経営の観点から医療機器価格の下落が今後も想定され、事業収益性の確保が課題となっています。

不整脈事業においては引き続き高度な専門性を活かした営業活動を行い既存顧客の深耕、新規施設の獲得、営業エリアの拡大による業容拡大を図るとともに、自社企画・開発商品の販売拡大による収益性の向上にも取り組んでまいります。

虚血事業においては新商材、特にオンリーワン商品の獲得を進めること、自動造影剤注入装置など自社開発医療機器の研究開発を進めることを重要課題としています。

Q 頻脈治療であるアブレーション治療のシミュレーター「EP TRAINER」など、新たなカテゴリーの商品の戦略的な位置づけと業績に与える影響についてお話しください。

A 品揃え強化のために新商材、特にオンリーワン商品を獲得することは当社の重要な戦略です。また、収益性向上のために自社企画・開発商品の獲得も重要な戦略です。上期に販売を開始したEP TRAINERは当社が企画・開発したオンリーワン商品です。

新たなカテゴリー商品としての自社企画・開発商品が含まれる当社3番目のセグメントである「その他事業」は、まだ規模は小さいながら、当上期にセグメント利益1億2千7百万円をあげ、前年同期比39.1%の増加となっています。

Q 「配当性向30%を目途」から、「継続的かつ安定的な配当による株主還元」に基本方針を変更した理由をお聞かせください。

A 従来は配当性向30%を目途とする方針でございましたが、34期の業績予想に基づく1株当たりの配当が16円程度となり、33期配当から8円の減配と試算されました。

株主の皆様へ長期的な利益還元を行う目的と当社の内部留保資金の状況に鑑み、減益時の大幅な減配を避けるため方針を変更することとし、34期より継続的かつ安定的な配当による株主還元を基本方針としました。

Q 若林前代表取締役会長の急逝により、千葉代表取締役社長が代表取締役会長に、柴崎代表取締役副社長が代表取締役社長に就任されました。半年が過ぎたいま、新体制で臨む将来への抱負と、早急に取り組むべき課題についてお話しください。

A 創業後34年、代理店業として着実に拡大を続けてきた現在のディーブイエックスを土台に、これからの、新しいディーブイエックスを作るのが、社長として私の役割です。

私は、医療現場への貢献を使命とする当社にとって、物作りは極めて重要な選択肢であると考えています。医療現場の声をよく聞き、それを活かした当社独自の商品開発に大いに取り組んでいきたいと考えています。

現在ある代理店業と輸入業をさらに発展させながら、製造業・輸出業へのチャレンジによって新しいディーブイエックスを作っていく。これが現在の私の抱負です。

業界全体が厳しい局面にありますが、前向きな課題として物作りへのチャレンジに着手してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも末永いご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ミッション(企業理念)

● 私たちは、医療業界で患者・医師・医療関係者のニーズを絶え間なく追求し、創造的なソリューションを提供する事で、社会に貢献する集団です。

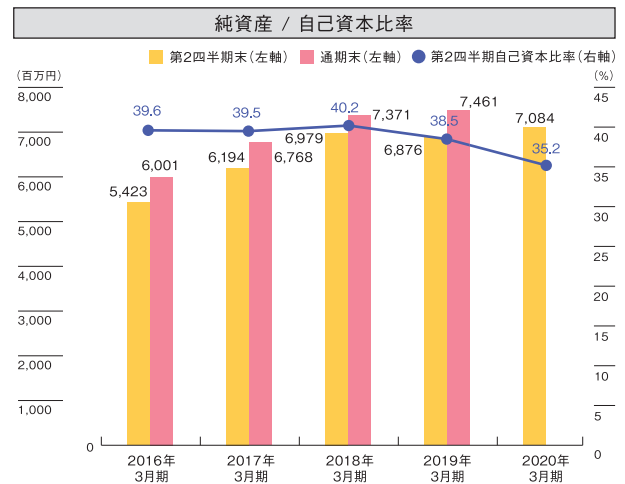
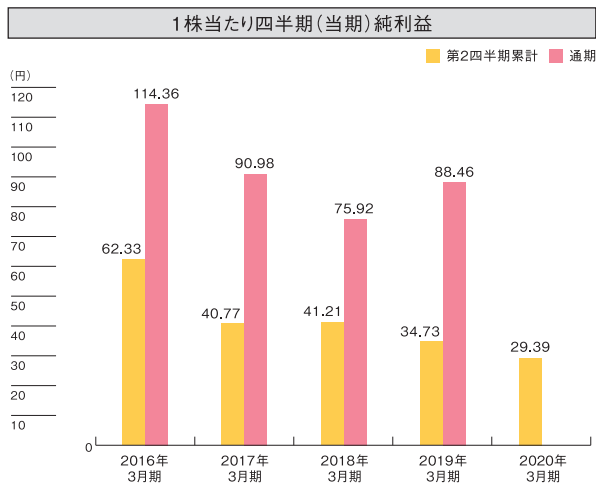
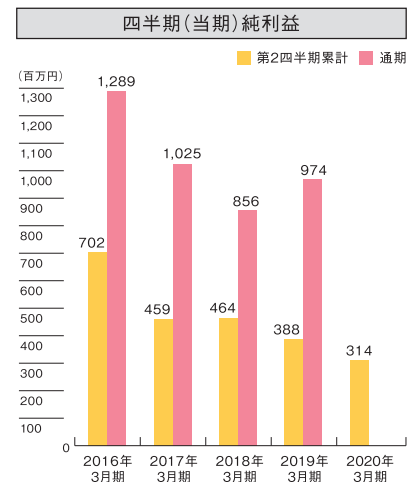
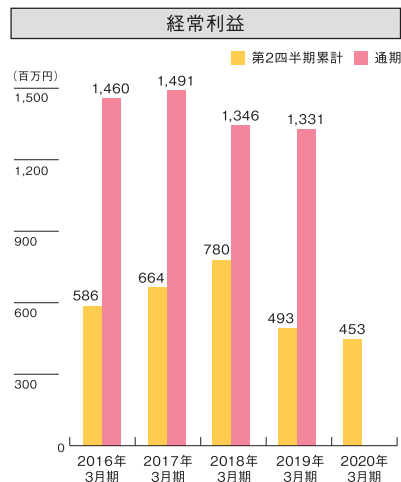
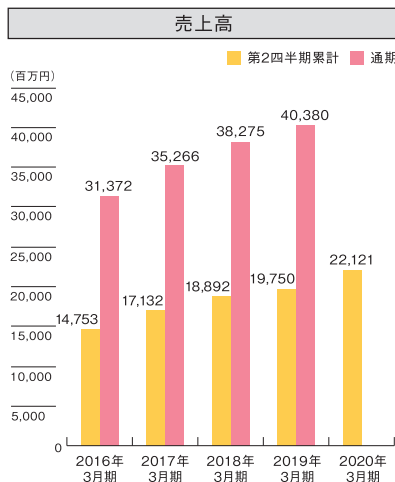
● 目標に向かって個々の力を最大限に発揮する『心』ある社員により集団を結成し、確かな未来を見据え、目的意識を明確に保持し、変化に対応する新しい企業です。

財務ハイライト (2019年4月1日～9月30日)

当第2四半期決算のポイント

前年同期比増収を達成するも、減益となりました。

当第2四半期累計期間の売上高は221億2千1百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は4億4千6百万円(同7.1%減)、経常利益は4億5千3百万円(同8.1%減)、四半期純利益は3億1千4百万円(同19.2%減)となりました。



ポイントの解説

1 売上高

不整脈事業で主力商品の販売数量が増加したこと、虚血事業では販売代理店としての販売が増加したほか、エキシマレーザ関連商品の販売が堅調に推移したことなどにより当第2四半期累計期間における売上高は、前年同期比で12.0%増加し221億2千1百万円と増収を達成しました。

2 営業利益

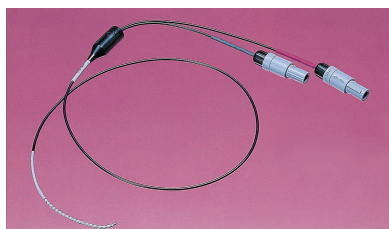
売上総利益段階では前年同期比2.2%増加を確保しましたが、研究開発費や人件費などの増加により販売費及び一般管理費が前年同期比4.2%増加したため、当第2四半期累計期間における営業利益は、前年同期と比較して3千4百万円、7.1%減少し4億4千6百万円と減益となりました。

事業セグメントの状況

不整脈事業 Arrhythmia Business

当第2四半期累計期間実績
売上高193億4千9百万円

高度な専門性を活かした提案型営業による既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、引き続き西日本エリアを中心として新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、カテーテルアブレーション（心筋焼灼術）治療用カテーテル類や検査用電極カテーテルなどの主力商品の販売数量が増加したことから、当第2四半期累計期間の売上高は193億4千9百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は21億2千6百万円（同2.6%増）となりました。



電極カテーテル
不整脈の診断や薬効評価に欠かせない心臓電気生理検査用カテーテル、およびアブレーション（焼灼）治療用カテーテルなどがあります。

売上高
221億
2千1百万円

事業セグメント別売上高構成比

■ 不整脈事業	87.5%
■ 虚血事業	8.6%
■ その他	3.9%

*「その他」においては、脳外科商品、一般外科商品、消化器商品、放射線防護用品などを販売しております。

虚血事業

Ischemia Business

当第2四半期累計期間実績
売上高19億3百万円

販売代理店としての販売が増加したほか、国内総代理店として取り扱っているエキシマレーザ関連商品の販売が堅調に推移したことから、当第2四半期累計期間の売上高は19億3百万円（前年同期比24.5%増）、セグメント利益は3億6千9百万円（同8.6%減）となりました。



エキシマレーザ血管形成システム
現在日本国内において「エキシマレーザによる心内リード除去術」「エキシマレーザによる冠動脈形成術」の2つの治療に適用が認められています。

営業の概況

Operating Results

医療機関からは経営環境改善のための値下げ要請、仕入先メーカーからは値上げ要請があるなど厳しい環境にありましたが、既存顧客の深耕、新規顧客開拓、独自商品の販売拡大、新商材の開発・獲得に注力したほか、仕入先メーカーとのインセンティブ契約締結による利益率改善など全社的な取り組みを継続して行っております。

2020年3月期（通期）の業績予想

Outlook

当初の通期業績予想を据え置いております。

不整脈事業の主力商品の販売数量が堅調に増加したことから、売上高は概ね計画どおりに推移しております。

2020年3月期（第2四半期累計期間）の業績予想に対する営業利益以下各段階利益の進捗率が高くなっておりませんが、人件費をはじめとする販売費及び一般管理費の経費予算について、節減効果と執行遅れが生じていることが主な要因です。現時点においては第3四半期以降に費用の発生を見込むほか、2019年10月に行われた保険償還価格改定などの影響を踏まえ、2020年3月期通期の業績は当初計画どおりに着地すると見込んでおります。

2020年3月期の業績予想

（百万円）	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2020年3月期	42,948	871	871	580
2019年3月期（実績）	40,380	1,237	1,331	974
増減率（%）	6.4	△29.6	△34.6	△40.4

当社に関する詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.dvx.jp/ir/index.html>

最新のIR情報を掲載しています。

dvx

検索

2019年10月診療報酬改定

2019年10月1日の消費税率の改定に合わせ、診療報酬の改定が実施されました。

改定率は診療報酬本体でプラス0.41%、薬価でマイナス0.51%、材料価格でプラス0.03%となっておりますが、当社が取り扱う医療機器の多くがマイナスの改定率となっております。

2020年4月にも定期改定が行われますので、医療機器卸にとりましては、医療機関との価格交渉と仕入先メーカーとの仕切価格交渉共に、より厳しさを増す状況となっております。当社としましては、医療機関に対する付加価値の高い提案型営業を行うほか、仕入先メーカーとの協働により、粗利益率の改善に取り組んでまいります。

不整脈事業における主要な商品の材料価格および増減率は以下のとおりです。

分類名称	2018年4月	2019年10月	増減率
112 ペースメーカー			
(1) シングルチャンバ			
① 標準型	606,000円	552,000円	△8.9%
② リードー体型	1,040,000円	1,060,000円	1.9%
(2) デュアルチャンバ(I型・II型)	611,000円	580,000円	△5.1%
(3) デュアルチャンバ(III型)	396,000円	403,000円	1.8%
(4) デュアルチャンバ(IV型)	831,000円	763,000円	△8.2%
114 体外式ペースメーカー用カテーテル電極			
(2) 心臓電気生理学的検査機能付加型			
① 標準型	54,900円	52,100円	△5.1%
② 冠状静脈洞型	79,500円	75,500円	△5.0%
③ 房室弁輪部型	177,000円	168,000円	△5.1%
④ 心房内・心室内全域型	396,000円	403,000円	1.8%
⑤ 温度センサー付き	89,300円	88,200円	△1.2%
⑥ 除細動機能付き	224,000円	218,000円	△2.7%
117 植込型除細動器			
(1) 植込型除細動器(III型)			
① 標準型	2,920,000円	2,880,000円	△1.4%
② 皮下植込式電極併用型	3,060,000円	3,120,000円	2.0%
(2) 植込型除細動器(V型)	3,040,000円	2,950,000円	△3.0%
123 経皮的カテーテル心筋焼灼術用カテーテル			
(1) 熱アブレーション用			
① 標準型	133,000円	126,000円	△5.3%
② イリゲーション型	159,000円	157,000円	△1.3%
③ バルーン型	496,000円	505,000円	1.8%
④ 体外式ペーシング機能付き	292,000円	293,000円	0.3%
⑤ 体外式ペーシング機能付き・特殊型	388,000円	395,000円	1.8%
(2) 冷凍アブレーション用			
① バルーン型	637,000円	649,000円	1.9%
② 標準型	149,000円	148,000円	△0.7%
144 両室ペーシング機能付き植込型除細動器			
(1) 単極又は双極用			
① 標準型	3,630,000円	3,680,000円	1.4%
② 自動調整機能付き	4,420,000円	4,310,000円	△2.5%
(2) 4極用			
① 標準型	4,140,000円	3,990,000円	△3.6%
② 自動調整機能付き	4,600,000円	4,620,000円	0.4%
168 心腔内超音波プローブ			
(1) 標準型	296,000円	299,000円	1.0%
(2) 磁気センサー付き	328,000円	327,000円	△0.3%

インフォメーション

会社の概要 (2019年9月30日現在)

商号	ディービーエックス株式会社 (DVx Inc.)		
設立	1986年4月1日(昭和61年4月1日)		
資本金	3億4千4百万円		
本社所在地	東京都豊島区高田2-17-22 目白中野ビル5階		
代表者	代表取締役社長 柴崎 浩		
従業員数	318名		
事業内容	医療用機器ならびに関連周辺機器の輸出入および製造販売業、修理業、リース業 医療用機器ならびに関連周辺機器の研究・開発 医療および医療用機器全般のコンサルティング業務ならびにサービスの内外提供 医療出版および市場調査を含む関連サービスの内外提供		
営業所	北海道営業所 埼玉営業所 八王子営業所 沼津営業所 大阪営業所 広島営業所	茨城営業所 千葉営業所 横浜営業所 浜松営業所 福井営業所 福山営業所	群馬営業所 東京営業所 静岡営業所 名古屋営業所 京都営業所 九州営業所
出張所	仙台出張所 山梨出張所 宮崎出張所	栃木出張所 長野出張所 沖縄出張所	

役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役会長	千葉 茂	社外取締役	村松 光春
代表取締役社長	柴崎 浩	社外取締役	堂垣内 重晴
常務取締役	鍋谷 正行	常勤監査役	戸田 幸子
取締役	平能 直弘	監査役(社外)	三縄 昭男
取締役	宮本 聡	監査役(社外)	中村 真一
取締役	東 俊彦		

大株主 (上位7名) (2019年9月30日現在)

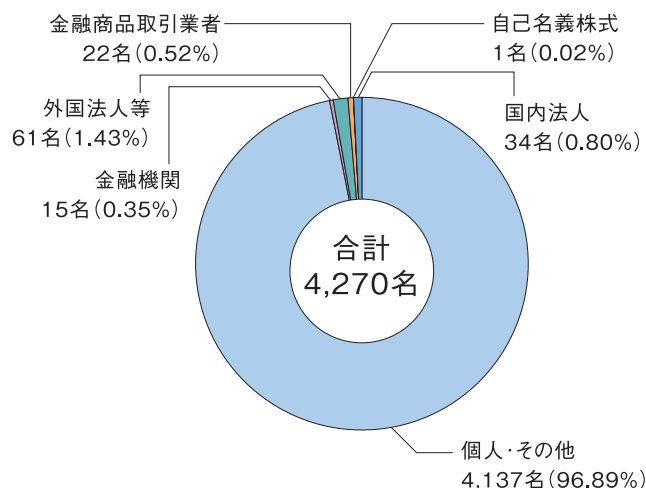
株主名	持株数	持株比率
株式会社MSS	3,264,600株	31.76%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	665,800株	6.48%
SKANDINAVISKA ENSKILDA BANKEN ABFOR HEALTHINVEST SMALL AND MICROCAP FD	552,400株	5.37%
若林 稲美	382,000株	3.72%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	275,200株	2.68%
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	257,300株	2.50%
株式会社 光通信	212,600株	2.07%

(注) 持株比率は、自己株式(1,002,621株)を控除して計算しております。

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	11,280,000株
株主数	4,270名

所有者別株式分布状況 (2019年9月30日現在)



株主メモ (2019年9月30日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711(通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.dvx.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。